

北海道地区大会

第 55 回北海道地区大会 ～海水浴やジンギスカンも～

北海道には珍しい真夏日が続いた8月6日から3日間の日程で、石狩市弁天会館を主会場に、釧路団、根室団、札幌団35名にて55回目を迎えた北海道地区大会を開催した。



初日は、大会実行委員会及び競技委員会に引続き、矢川北海道地区連盟会長の挨拶を皮切りに開会式を整然と行いました。

初日の競技は結索を実施。個人競技は5種類の課題、団体は6種類の課題に取り組みました。満点合格者が続出し、日頃の訓練の成果が十分に発揮される結果となりました。

大会2日目は朝6時30分から、手旗受信競技を開始。ラッコ級による原画20種の手旗3級技能賞の受信を初めに行い、続いて初等級から高等級まで一同に対して50文字づつの無意味、有意味の受信競技と検定を行った。満点合格者は3名に留まったが、皆、真剣な眼差しで取り組んでいました。

朝食後、会場を移して水泳競技を実施。初等級・中等級・高等級の順に自由形タイムレースを行い、熱戦が繰り広げられた。

さらに会場を札幌団訓練所に移しカヌー競技を実施。折返し100mを漕ぐ個人タイムレースとし、個人タイムの各団上位3名の速さにより、団体の得点を競う団体レースを行った。風に流されないよう、皆、力いっぱい漕いでいたのが印象的であった。

全競技を終えた午後からは、あそビーチ石狩での海水浴に興じた。



夕食は各団を横断したグループに別れ、団員が中心となってジンギスカンを調理し、とても美味しく出来上がった。夕食後の花火も楽しい思い出となり交流も進んだ。

最終日、宿舍の清掃を行い、閉会式では競技結果の発表と表彰式を行った。

3日間の食事を手作りしてくれた札幌団長を始め、指導員、父母の皆さんに感謝をし、来年の再会を誓い、大会の幕を閉じた。

(北海道地区連盟事務局員・根室団指導員 神田 文洋)